
PANDA REBORN 2026

いつもPANDAを愛用し、共に歩んでくださる皆様、誠にありがとうございます。創業から5年が経過し、6年目を迎えます。皆様と共に積み上げてきた記録と、日々寄せられる信頼の声は、私たちの大きな自信と誇りです。ここまでの皆様からの応援に対して、またご協力いただいた関係各所に心から御礼を申し上げますとともに、私たちも皆様のお力に少しでもなれていたなら幸いです。そして私たちは、ここから次の5年、10年を見据えた新たな歩みを踏み出す決意をしました。

現在、日本国内には従来のUCSやGILLに加え、ESSXや新しいNordicなど海外ブランドの選択肢も増え、選手が自分に合ったポールを選べる環境が整いつつあります。弊社はこうした環境の広がりを心から歓迎するとともに、各ブランドのご尽力に敬意を表する次第です。ここに弊社のDEFY、LEAPが加わり、多くの自己ベストや大会での好成績のご報告を頂くことを非常に嬉しく思います。なぜなら、切磋琢磨し、競い合い、時には協力し合うことで、日本の棒高跳の明るい未来が拓けると確信しているからです。

数ある選択肢の中から弊社のポールが選ばれ、より多くの信頼と実績を積み重ねていけるよう、ユーザーの側に立ち、常に耳を傾け、情報収集と研究開発を続けてまいります。

皆様にとって大切な競技シーズンの最中に、このようなご報告となりますこと、心よりお詫び申し上げます。

新生産体制への移行に伴い、量産モデルの本格販売までには一定のお時間をいただきます。選手の皆様が「使いたい」と願う瞬間に、ポールを手元にお届けできない期間を生じさせてしまうことを、重ねてお詫び申し上げます。

そうした想いを込めて、PANDAから以下のご報告をいたします。長くなりますが、ぜひ最後までお読みいただければ幸いです。

創業6年目の決意：さらなる「進化」への挑戦

PANDAはこれまでの実績を確かな礎とし、さらなる高みへ向かうべく「新たな製造体制の構築」を行います。アスリートの皆様がより競技に集中できる環境を整え、PANDAが目指す理想の品質を継続的に提供し、挑戦を支え続けるための決断です。次の5年に向けて、私たちも新たな挑戦をスタートさせます。

供給体制と品質管理の強化

「理想のポール」とは、単にスペックが高いだけの道具ではありません。それは、競技者が高い信頼感を持って競技に臨める「信頼の証」であるべきだと私たちは考えます。

▶ 「必要な時に、手元にある」供給体制の構築：アスリートが「今、このポールが必要だ」と願う瞬間を逃さないよう、より強固な生産・供給ラインを構築します。心と身体のパフォーマンスが最高潮の時、ご自身の状態に合った道具が手元にあること。その環境づくりを第一のミッションとします。

▶ ひとりひとりに寄り添うご提案とサポート：「ポールの選び方がわからない」「子どもの動きを見ながらアドバイスが欲しい」――そういったご相談こそ、PANDAが大切にしてきた時間です。購入したポールとのミスマッチングによる記録の停滞やケガを防ぐため、ビデオ解析やヒアリングを通じて選手の状態に合ったポールをご提案し、継続的にフォローアップいたします。時には、選手の跳躍スタイルに合わせたオリジナル仕様のご提案まで――PANDAにできることは、思った以上に多いかもしれません。

理論を「形」にするパートナーシップ体制の構築

弊社の核となるのは、長年の棒高跳研究と、多くのユーザー様からいただいた5年間の実践データから積み上げてきた、選手の動きとポール特性を結びつける独自の知見です。この度、その知見をより高い精度で形にすべく、新たなフェーズへと移行します。これまで培ってきた設計理論と実践の蓄積に、高い製造技術を組み合わせることで、PANDAは次の段階へと進みます。

「共創 (Co-creation) 」という新しい挑戦：

セミカスタマイズから「次世代のスタンダード」へ

メーカーが作ったものを一方的に渡すだけの時代ではなくなりました。これまでもPANDAは、選手ひとりひとりの跳躍ビデオ解析や綿密なヒアリングを通じ、それぞれの跳躍スタイルに最適化させる「セミカスタマイズ」をひとつの強みとしてきました。この「選手に徹底的に伴走する」姿勢をさらに一歩先へ進め、年代や競技レベルを問わず、より多くのアスリートの感性とデータを製品設計にフィードバックする「共創 (Co-creation) 」のステージへと昇華させます。

皆様の「フィードバック」と「経験値」を注ぎ込み、日本人選手のデータ傾向を踏まえた「次世代のスタンダード (量産モデル) 」の構築を目指す—これが、PANDA REBORNの核心です。

「共創プロジェクト2026」参加者募集のお知らせ（予定）

私たちは、ポールの開発研究において「選手の感性」と「科学」が組み合わせることで、理想の形に近づくと考えています。6月から、新体制での量産を見据えた次世代プロトタイプの製造を開始予定です。このポールを実際にご使用いただき、開発へのフィードバックを共に行っていただくパートナー（ベータテスター）を募集します。

※ 今回のプロトタイプは新たな製造体制そのものの検証を優先するため、従来の材料を主に使用します。

※ 本プロジェクトへのご参加は、日本国内にお住まいの方に限らせていただきます。

【重要事項】

- ・ 本プロトタイプが研究開発段階の製品であること、および競技使用に伴うリスクについて十分にご理解いただく必要がございます。
- ・ フィードバックデータ等の権利帰属・免責事項等の詳細は、別途定める「参加規約」へのご同意が必須となります。

募集内容	プロトタイプを実際にご使用の上、使用感をフィードバックいただけますと幸いです。
限定数	50名様程度（長さ毎に人数設定予定：11～14.1ft 程度を想定）
優先提供	パートナー特別価格（開発支援価格）にてプロトタイプモデルをご提供予定。皆様のご経験とフィードバックが、次世代ポールを共に作り上げる力となります。
製品版継承	量産モデル発売時、初回購入優待割引を適用予定（適用条件あり）
募集時期	2026年5月中旬より募集開始予定（6月初旬にオンラインにて説明会を実施予定）

私たちの「夢」を、一緒に実現しませんか

創業から怒涛の5年が経ちました。しかし振り返れば、すべては2013年12月のプレゼンシートに記した、一つの大きな夢から始まっています。

「日本人が国産ポールで、世界の空を跳ぶ」

国産の棒高跳用ポールの復活と、選手の活躍を支えることは、単なるビジネスではなく、人生を懸けた情熱です。海外製品に頼るしかなかった日本の競技シーンに、日本人競技者の特性を反映した、日本生まれのポールという選択肢を確立したい。そして、そのポールを手にした選手が、いつか世界大会の舞台上で輝く姿を見たい。それがPANDAの最終目的地です。

「自己ベストを更新したい」「練習で技術・体力に合わせたポールが欲しい」という選手の切実な願いに応えるために。棒高跳びを始めたばかりの初心者や若い選手、女性アスリート、競技を深く追求するトップアスリート、そして長くこの競技を愛し続けるマスターズ世代の方まで、年代・性別・競技レベルを問わず、用具の面から幅広く支えてまいります。新体制から生まれるPANDAは、これまでの知見を注ぎ込んだ、より良い仕上がりになるよう、全力を尽くしてまいります。

【安全に関するご注意】棒高跳は高所での跳躍を伴う競技特性上、常に危険が伴います。製品のご使用にあたっては、安全が確保された環境下において、適切な指導者のもとでのご使用を前提としております。

※本文中「棒高跳」は競技名・種目名として、「棒高跳び」は動作・複合語として使い分けています。

合同会社ポジティブアンドアクティブSports R&D

代表（棒高跳び狂） 武田 理 | 2026年5月